

ガイアの季節

2021年6月発行

第36号

医療法人 伴帥会
愛野記念病院

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲3838-1
TEL (0957) 36-0015 FAX (0957) 36-1027
ホームページ <http://www.ainomhp.jp/>

雲仙仁田峠のツツジ 撮影：神経内科医師 森 正孝



新入職員研修の
一コマ

聖火リレーに
参加しました!!

基本理念

- 一. 私たちは患者様、利用者様の立場にたち、納得していただける良質な医療・介護サービスを提供します。
- 一. 私たちは保健・医療・福祉を通じて地域の皆様の安心・信頼・満足のゆく健康で豊かな生活を支援します。

- Dr.コラム【元気は循環する～聖火リレー体験記～】……………2
- 新型コロナワクチンについて……………3
- ガイアの里の通所リハビリテーションが表彰されました! ……3
- 新入職員紹介……………4~5
- 日本ハンドセラピー学会学術集会を終えて……………6
- 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会発表……………6
- 日曜日に乳がん検診を! ……7
- Cookingレシピ/ひじきサラダ……………7

わたし達の町のー医療をサポートー 医療法人伴帥会 広報誌 ガイアの季節 第36号ー6月発行

発行/医療法人伴帥会 愛野記念病院

伴帥会グループは地域の医療・福祉をトータルでサポートします!!

愛野記念病院



【受付時間】
月～金 午前 8:00～午前 11:30
午後 1:00～午後 5:00
土曜 午前 8:00～午前 11:30

【診療時間】
月～金 午前 9:00～午後 0:30
午後 2:00～午後 5:00
土曜 午前 9:00～午後 0:30

【休診】日曜・祝日 第2土曜日

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-36-0015(代) FAX. 0957-36-1027

【診療科目】
整形外科、内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、外科、消化器外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、アレルギー科、リウマチ科、皮膚科、耳鼻いんこう科、心療内科、麻酔科、放射線科

※麻酔科標榜医：前田 滋・原田 沖・高橋 俊次・山下 紀夫
※救急の場合は24時間対応いたします。玄関は、7時30分に開けます。
※当院は、予約制となっております。

愛野記念病院 健診部門「健診プラザ」



- 生活習慣病予防健診
- 雇用時健診
- 企業健診
- 特定健診
- がん検診
- 人間ドック

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-27-5757 FAX. 0957-36-0070

愛の訪問看護ステーション

- 在宅での看護ケアの提供
- 医師の指示による点滴、医療処置の実施
- 日常生活の介助
- 看護学生の実習受け入れ

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-36-3370 FAX. 0957-36-3380

愛野記念病院ケアマネジメントセンター (居宅介護支援事業所)

- 要介護認定申請の代行業務
- 介護プランの作成
- 居宅サービスの調整や施設サービスの紹介
- 介護保険全般に関するご相談

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-36-3382 FAX. 0957-36-3405

愛野記念病院 訪問リハビリテーション

TEL. 0957-36-1825 FAX. 0957-36-1847



愛野記念病院
ホームページ

介護老人保健施設 ガイアの里

ガイアの里 通所リハビリテーション
ガイアの里 訪問リハビリテーション



- 介護老人保健施設(入所)
- ショートステイ(短期入所)
- 通所リハビリテーション
- 訪問リハビリテーション
- 居宅介護支援事業所

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町乙 2314-1
TEL. 0957-36-3550 FAX. 0957-36-3553

グループホーム ●椿高野 ●山椿



- 生活リハビリ
- 認知症の進行緩和
- 認知症デイサービス

〒854-0302 長崎県雲仙市愛野町乙 2314-5
TEL. 0957-36-3558 FAX. 0957-36-2618

岐伯鍼灸院



- はり、灸施術
頭痛、肩こり、腰痛、
ひざ痛、内科的な疾患
などの緩和と回復

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3835-1
TEL. 0957-36-0134



新型コロナワクチンについて

呼吸器内科医 副院長 井上 祐一

今まで不活化・弱毒化ワクチンが多用されてきましたが、新型コロナワクチンには遺伝子治療技術を応用した核酸ワクチン(RNAまたはDNA)が開発され、有効性及び安全性の両面から非常に優れているとの評価を得ています。



1 効果と副作用

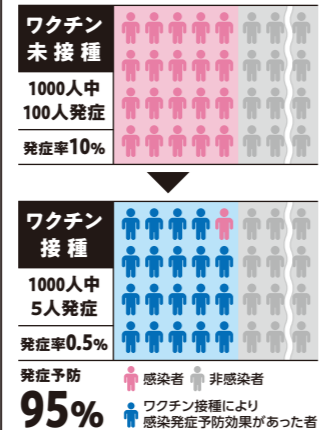
①有効性

日本でも承認された米国のファイザー等のmRNAワクチンは、95%程度の感染発症予防効果があります。

②副作用

接種部位の腫脹と疼痛や発熱、頭痛などが主なものです。1回目は軽微ですが、2回目は3割以上の方に37.5度以上の発熱、頭痛などが現れます。接種の翌々日には症状は軽快します。蕁麻疹や気管支喘息などのアレルギーがある方は30分以上の接種後観察をお願いします。アナフィラキシー(強いアレルギーで、息苦しさを伴うもの)は殆ど発生していませんが、10万人当たり4.5人の発生があります。

ワクチンの有効性 (発症予防効果)95%とは



2 変異株にどの程度効くのか

英国株(T501Y)には、十分有効で、現在南アフリカ株やブラジル株には、ワクチンの効果はやや低下するであろうとされています。

3 接種するか迷っている方へ

はっきり言ってワクチン接種は受けるべきです。家族や友人への感染を防ぐだけでなく、日本全体で感染者が減少し、医療従事者の負担が軽減する事で社会全体の利益に貢献できます。

2回目接種後の発熱なんて、発病した時の事を考えれば大したことはありません。

Dr. コラム



元気は循環する

～聖火リレー体験記～

呼吸器内科、緩和ケア、臨床宗教師

原 信太郎

TOYO2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレー走者として、長崎県香岐市を走って参りました。

私は呼吸器内科専門医、緩和ケア医、認定臨床宗教師という3つの肩書きを公認され、当院で勤務しています。人の命にひたすら寄り添うことを生業としています。がんや難病の患者さんやそのご家族たちに、話しを聴いてもらって嬉しかった、良い病院で最期を迎えられて良かった、良い人生だったと言ってもらえるように、緩和ケアチームのチーフとして、自己研鑽に励み、チームのレベルアップを目指しています。また地域の緩和医療推進、地域の在宅医療展開の中心的な役割を担いはじめているところです。高齢化が進む地域でありますが、人々が安心して人生の最期を迎えられるような環境を調べていきたいと願っています。この願いや祈りが五輪組織委員会に届き、聖火走者を選んでいただきました。走者選ばれた後、コロナウイルスが流行し、専門医としてコロナ診療の最前線にも立ち

ています。医療従事者の疲弊や苦悩の現実を目の当たりにし、その現場で医療者のメンタルケアにも携わってきました。そんな私の立場だからこそ聖火をつなぐ大事な意義がもう一つ加わったと思います。

つないだ聖火の炎から溢れてくる熱さ、心が満たされる暖かさ、脳裏に焼き付く明るさ、パチパチと言った音、煤の臭い。五感で感じた確かなエネルギーは、聖火を實際につないだ者にしか分からない生に一度の得がたい体験でした。

これまで元気を与える側でありながら、実は多くの患者さんやご家族から、私自身が沢山の元気をもらってきました。この聖火リレーで再び、皆さんに元気を与える番になります。こうやって元気は循環・還元されていくのだと信じます。オリンピック聖火ランナーの姿が、病める人々の希望に繋がって欲しい。この地域の発展と人々の幸福を祈りながら、希望の聖火をつないで参りました。聖火リレーに携わった多くの関係者と、応援して下さった患者さんや当院職員に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



聖火リレーの様子はコチラ→



ガイアの里の通所リハビリテーションが介護予防・重度化防止に取り組む優秀事業所として表彰されました!



長崎県より、令和2年度介護予防・重度化防止に資する事業所表彰審査会において、ガイアの里通所リハビリテーションが優秀事業所に出選されました。

本事業は、県内に於いて優れた介護サービスを提供し、利用者の要介護度改善や、自立支援に成果を上げた介護事業所を評価・表彰することにより広く長崎県内事業所に介護予防や自立支援に対する意識向上や取組促進に繋げることを目的としたものです。

対象事業所としては、長崎県内の「通所介護事業所(デイサービス)」「通所リハビリテーション(デイケア)」「認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)」「認知症対応型通所介護事業所(認知症デイサービス)」となっております。要介護度が改善した人数やその取組、人材育成に関

する取組等を評価項目として審査され、①「優れた介護事業所の表彰」②「交付金の交付」の両部門での表彰選出となりました。

当施設の取組状況については、今後長崎県のホームページ等で紹介され、県内他事業所に対し、介護予防・重度化防止に取り組む上での参考とされる予定です。

今回の表彰に奢ることなく、引き続き地域高齢者のご支援に全力で取り組んでいく所存です。

ガイアの里通所リハビリテーション 主任 元村新司





わたし達 New Face

色々なことに
チャレンジ
しながら
頑張ります!!

**健診プラザ
事務員**

中村 沙貴

何事も迅速、丁寧、正確に心をこめて、なるべく早くお役に立てる様頑張っていこうと思います。

栄養科

中山 奈央

患者様に元気で笑顔をお届けられるような食事を提供できる管理栄養士を目指して頑張りたいと思います。よろしくお願いします!

**看護部
看護補助**

江嶋 優香

病院での勤務は初めてですが、精一杯療養のサポートをさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

看護部

家田 恵美

今年の1月より3病棟にて勤務しております。慣れない環境で不安も大きいですが、患者様に信頼と笑顔を与えられる様に頑張ります。

看護部

池田 さゆり

野に咲く花のように患者様を爽やかにして、野に咲く花のように人を和やかにして、選ばれる病院の一員として自覚を持ち頑張ります。

看護部

前川 茉由佳

看護師として誠実な気持ちを忘れず、一步一步知識や経験を積んでいきたいです。よろしくお願いします。

看護部

高原 千聖

患者様に笑顔で接し、頼られる看護師を目指して頑張りますので、これからもよろしくお願いします。

看護部

川内 勇作

以前は看護助手として働いていました。今回、看護師として入職しました。患者様に合ったケアを提供していきたいです。

**ガイアの里
介護職員**

島田 佳奈

入所者様に笑顔で楽しい日々を過ごしていただけるようにがんばってまいります。

栄養科

山口 叶

患者様一人一人に寄り添える管理栄養士になれるよう社会人一年目として元気に明るく笑顔でがんばります。

**診療
アシスタント**

土井 菜々子

診療アシスタントとして、医師や看護師、患者様のサポートができるよう頑張りたいと思います。

看護部

岩永 優

3年後に内視鏡技師を取れる様に日々学びを深めていきます。又、地域の人に寄り添える看護を行います。

看護部

増永 優貴

患者様に信頼される看護師になれるよう日々努力をしていきたいと思ひます。

看護部

山口 明日香

私の取柄である元気さ、パワフルさをバネに、患者様に信頼される看護師を目指して頑張っていきたいと思ひます!

看護部

西田 和香葉

私の一番の武器である笑顔を忘れず、信頼される看護師になれるよう積極的に行動し、日々、知識・技術を磨いていきます。

看護部

高取 佳帆里

看護師の高取佳帆里です。新人看護師としても人としても成長できるよう積極的に学ぶ姿勢と笑顔で忘れず頑張りたいと思ひます!

**ガイアの里
事務職員**

土井 裕子

利用者様に寄り添い、満足して利用して頂くよう目配り気配りでニーズに応え 親切、丁寧な応待を心掛けたいです。

参事

野茂 俊一

基本理念に基づいて頑張っているみなさんのお役に立てよう笑顔で忘れずに職務に励みますので、よろしくお願いします。

検査科

竹下 悠夏

迅速かつ丁寧な検査を提供することができ、また患者様の気持ちに寄り添える検査技師になりたいです。

**訪問看護
ステーション**

工藤 律子

看護師としての職務を全うできる様、一日一日を大切に過ごしていきます。

**健診プラザ
看護師**

浦川 沙綾香

入職して半年経ち、今まで学んだことない分野を経験しながら看護師としての知識・技術を身につけていきたいと思ひます。

看護部

馬場 祐希

患者様に信頼される看護師になれるよう、先輩方の指導を受けながら日々成長できるように頑張ります。

看護部

松尾 智絵

新人看護師の松尾智絵です。これからの期待と不安でいっぱいですが、少しずつ成長していけるように頑張っていきます。よろしくお願いします。

看護部

宅島 彩

私は患者様に信頼していただけるような看護師になれるように知識と技術の向上のために努力していきます。

新入職員 研修の様子



コロナ禍の厳しい状況の中今年も多くの新入職員の皆さんに来て頂きました。一緒に頑張っていきましょう。



雲仙市酪農連絡協議会様より新型コロナウイルス感染症と闘う医療従事者へ応援と感謝の気持ちを込めた、牛乳を寄付いただきました。ありがとうございました。



「あの時診てもらってれば」では遅い。

日曜日に乳がん検診を!

多忙な平日をお過ごしの方の皆さま!日曜日にマンモグラフィー検査をうけてみませんか? 当院は令和元年より、認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)が「すべての女性」に対する啓発活動や「乳がんで悲しむ方を無くしたい」との思いから推進するジャパン・マンモグラフィーサンデー(JMS)プログラムに賛同し、今年度も年3回、日曜日に検診を実施します。

実施日 令和3年 7月18日(日) 10月17日(日)
令和4年 1月16日(日) **3回/年**

実施時間 9:00~15:00
予約枠を設定しておりますので、待ち時間なく受けられます。

検査内容 マンモグラフィーのみ
(乳腺エコーは実施しません)

検査対象年齢 40歳以上の女性

予約 愛野記念病院健診プラザ
☎0957-27-5757
(予約受付は平日9時~17時)

- 受付から検査まで全て女性スタッフが対応します。
- 下記に該当される方は対象外となります。
 - ・39歳以下の方 ・授乳中の方
 - ・心臓ペースメーカー植込みの方
 - ・胸部の手術を受けられ、手術後に金属やシリコンなどが入っている方

費用
各市のがん検診
料金で受けられます
お気軽にお電話
ください



第33回 日本ハンドセラピー学会学術集会を終えて

「ハンドセラピー」とは、手に損傷や障害を受けた人が再び生活できる手を獲得するために行われる専門性の高いリハビリテーション技術です。愛野記念病院では貝田理事長、宮崎副院長兼手外科センター長、田崎副センター長の尽力により、2013年に手外科センターが開設され、最先端の手外科手術、専門性の高いハンドセラピー治療および研究活動を行っています。そのハンドセラピーの歴史ある全国規模の学会が長崎では初めて、沖縄を除く九州では32年ぶりに開催されることになり、第33回日本ハンドセラピー学会学術集会を主催するという大役を当院手外科センターのハンドセラピー室が担うこととなりました。

2年前から少しずつ準備をはじめました。COVID-19感染症の拡大により多くの変更を余儀なくされましたが、関係者の皆様のご協力のもと4月24日、25日に長崎ブリックホールにて感染対策の上で、web配信しながら無事に開催することができました。企画では、スマホを利用したリアルタイムディスカッションやスイスからのオンライン海外講演など魅力ある内容でした。この現地とインターネットにてオンライン配信する学会方式はハイブリッド方式と呼称され、新しい学会のあり方として多くの方に喜ばれ賞賛いただきました。

今後も学術研究活動を通して根拠に基づく治療技術を習得しながら、手の疾患や外傷を負った患者様に最良の治療を提供する努力を続け、愛野記念病院、延いては日本の医療に貢献したいと考えております。

2年間の準備と当日の運営に対し、ご指導、ご協力賜りました全ての皆様へ、御礼申し上げます。ありがとうございました。

第33回日本ハンドセラピー学会学術集会 大会長
愛野記念病院 手外科センター 作業療法士 野中信宏



学会を主催した
当院ハンドセラピー室と
メンバー



学会に参加した当院の
手外科医師とハンドセラピスト



オンライン配信による新しい学会運営方式



学会実行委員とステージ

Cookingレシピ ひじきサラダ

毎日の暮らしに
お酢をプラスしよう!

酢は和食の基本調味料「さしすせそ」のひとつです。

料理に酸味やコクを与えるだけでなく、内臓脂肪を減らしたり、高血圧抑制効果、血中脂質低下、食欲増進作用など様々な効果があります。

また、梅雨の時期から夏にかけて食中毒が流行しますが、酢には食中毒菌の増殖防止の効果も期待できます。



作り方 (2人分)

材料	分量	目安量	材料	分量	目安量
干しひじき	6g		米酢	10g	小さじ2
トマト	40g	1/4個	ゴマ油	3g	小さじ1
きゅうり	40g	1/2本	上白糖	2g	小さじ1
ロースハム	16g	1枚	塩・こしょう	少々	
ホールコーン缶	20g		濃口醤油	10g	小さじ2
ツナフレーク	16g				

1人当たり エネルギー…82Kcal 塩分…1.4g 食物繊維…2.3g

- 1 干しひじきは水で戻し、さっと茹でる
- 2 トマトときゅうりは角切りにする
- 3 ロースハムは千切りにし軽く炒める
- 4 ホールコーンは水を切る、ツナは油を切る
- 5 ①~④と調味料を混ぜ合わせる

ワンポイント

- 具材の水気をよく切ってから和えましょう。
- 暑い日はしっかり冷やしてから食べるのもオススメです。
- 酢が好きな方は分量をもっと増やしても美味しくいただけます。

日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会 第15回セミナーで発表しました!

ベストプラクティスをとらえて、手指衛生と个人防护具の必要性を改めて実感しました。また、手順を作成するだけでなく、手順書に沿って継続して実践してゆくことが大事だと学びました。



看護補助者会では、2017年から感染管理ベストプラクティスに取り組んでいます。内容は2017年度はオムツ交換、2018年度は環境清掃、2019年度は汚染リネン交換です。毎年4~5月頃に大阪国際会議場で開催されるセミナーは、昨年はコロナ禍のため中止となっていました。今年になりオンラインで行われました。1年遅れではありましたが、汚染リネン交換について取り組んだ成果を無事、発表できました。感染管理の視点を踏まえた患者ケア・業務の統一化を図り、コロナ禍を乗り越えていきましょう!